子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

資料6

平成29年度予算額（案）：4,494百万円（4,462百万円）　平成28年度補正予算額：1,302百万円

支出予定先：（独）国立環境研究所・全国15地域の大学等

子どもの健康に環境化学物質が与える影響が解明されておらず、子育てへの不安が広がっている。その解明のため、大規模な疫学調査が必要。

事業内容

エコチル調査とは、胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期的・大規模な追跡調査。

10万組の参加登録
※平成26年３月20日、10万人（母親）に到達）

妊娠初期・中期
- インフォームドコンセント
- 妊婦血液、尿の採取
- 質問票調査

出産時
- 母の血液・毛髪、父の血液の採取
- 出生児の健康状態を確認
- ろ紙血（出生児）の採取
- 臍帯血の採取

1ヶ月時
- 赤ちゃんの毛髪の採取
- 母乳の採取

13歳の誕生日まで
- 質問票調査（半年ごと）
- 面接調査、採血、環境試料の採取など※

※10万人のうち5,000人の子どもを対象に実施（数年ごと）

- **化学物質等の測定、分析**
- **生体試料の長期保存　等**

⇔

- **遺伝要因、生活習慣要因、社会要因等と併せて統計分析**

↓

安全・安心な子育て環境の実現

実施体制

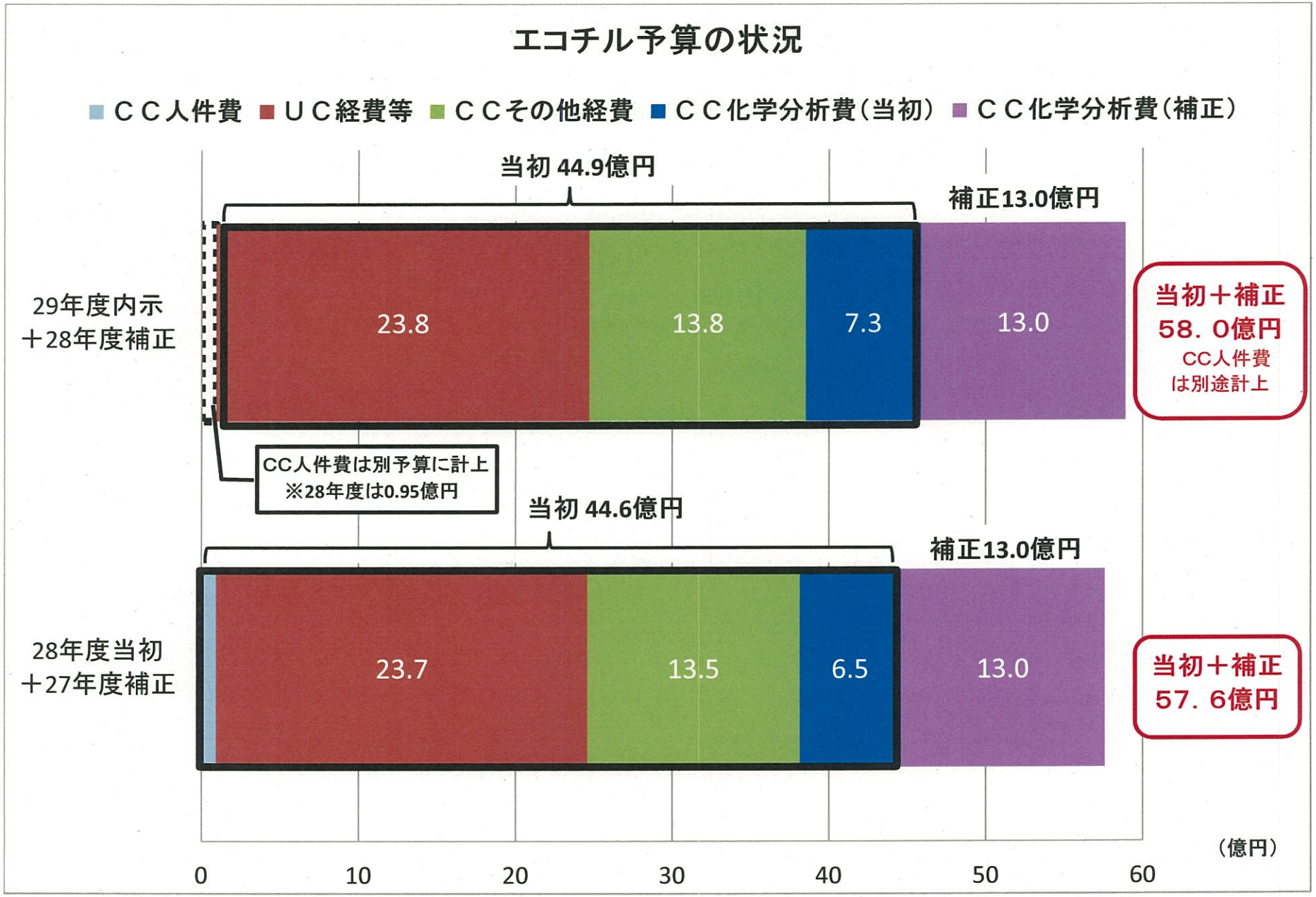
環境省
- 調査結果を用いた環境政策の検討
- 各省との連携
- 国際連携

コアセンター（国立環境研究所）
- 調査実施の中心機関
- データシステムの運営
- 試料の保存分析、精度管理
- ユニットセンター管理・支援

ユニットセンター（全国15地域の大学等）
- 参加者のリクルートと13歳に達するまでの追跡
- 生体試料の採取、質問票調査の実施

メディカルサポートセンター（国立成育医療研究センター）
- 調査における医学的支援

エコチル予算の状況


ＣＣ人件費
ＵＣ経費等
ＣＣその他経費
ＣＣ化学分析費（当初）
ＣＣ化学分析費（補正）
当初 44.9億円
補正13.0億円
29年度内示
＋28年度補正
23.8
13.8
7.3
13.0
当初＋補正
58．0億円
CC人件費
は別途計上
CC人件費は別予算に計上
※28年度は0.95億円
当初 44.6億円
補正13.0億円
28年度当初
＋27年度補正
23.7
13.5
6.5
13.0
当初＋補正
57．6億円
（億円）
0
10
20
30
40
50
60